



TANDEM TOURING BELT
Safely Touring Belt for Tandem Riders.



タンデムツーリングベルトTB 使用上の注意

安全にお使い頂くために、ご使用前に必ずお読み下さい!!

本書は製品保証書も兼ねておりますので大切に保管するようにお願い致します。

警告 重要:ご使用前に必ずご確認ください

- 本製品は、タンデム走行時の同乗者の脱落防止補助と、停止転倒時（立ちゴケ）に於ける同乗者の脱出補助を目的とした装置であり、転倒時や衝突時の乗員の身体的な安全を確保するものではありません。
- 本製品の設計上または製造上の欠陥に起因しない事故等の賠償責任等は一切負いかねます。「取扱い説明書」及び「使用上の注意」をよくお読みになり、使用方法や注意事項等を守り、安全運転の上で使用される方の自己責任にてご使用ください。
- 体力的もしくは体格的に同乗者の体重を十分に支えきれない方は本製品のご使用ができません。
- 事故や転倒時に、運転者と同乗者が連結している事で、同乗者の身体に加わる損傷の度合いが増す場合があります。

適応体格範囲

下表の適応範囲を満たし、尚かつ「運転者と同乗者の身長差」から「前座席と後座席のシート段差」を引いた高さが0cm~75cmの範囲

	適応体格範囲	適応体重範囲	適応着衣胴囲範囲
運転者（ライダー）	150~190cm	-----	140cm 以下
同乗者（お子様）	100~150cm	40kg 以下	110cm 以下

例) : 運転者身長 185cm、同乗者身長 100cm、前後のシート段差 5cm の場合 → $185 - 100 - 5 = 80\text{cm}$ × 不適応となります

例) : 運転者身長 153cm、同乗者身長 150cm、前後のシート段差 5cm の場合 → $153 - 150 - 5 = -2\text{cm}$ × 不適応となります

例) : 運転者身長 175cm、同乗者身長 100cm、前後のシート段差 0cm の場合 → $175 - 100 - 0 = 75\text{cm}$ ○ 適応体格範囲です

例) : 運転者身長 158cm、同乗者身長 150cm、前後のシート段差 5cm の場合 → $158 - 150 - 5 = 3\text{cm}$ ○ 適応体格範囲です

警告 乗員の身長差が少なくシート段差が大きな場合ほど、同乗者の身体を支えることが困難となります。

注意 乗員の体格が上記の適応範囲にあっても、適切な装着ができない場合があります。

*スポーツやボディビル等で胸や肩の筋肉が大きく発達している方や、肥満体型の方等は、身長や着衣胴囲が本製品の適応範囲にあっても、本製品の肩ベルトや肩ベルトの補助ベルトが適正範囲を超えて装着できない場合がありますのでご注意ください。

使用上の注意

警告 適応体格範囲を超える方の使用はできません。

適応体格範囲を超えて使用した場合、適切な装着ができなかったり、想定荷重以上の負荷による製品破損を招く恐れがあり、オートバイ後部座席からの脱落等による死亡や大ケガに繋がる可能性があります。

警告 本製品をご使用前に、樹脂部品の破損や変形、布地の破れやほつれ、ベルトの破損やほつれ等が無いが、必ずご確認ください。

破損や変形、ほつれ等を発見した場合は直ちにご使用をお止め下さい。破損や変形、ほつれがある状態で使用を続けた場合、本製品が破損しオートバイ後部座席からの同乗者の脱落を招き死亡や大ケガに繋がる可能性があります。

警告 本製品の適応体格範囲にあっても、ヘルメットの適切な装着ができないお子様や、オートバイ後部座席の足掛けに足が届かないお子様のご使用はできません。

本製品はタンデム走行時の同乗者の脱落防止補助と、停止転倒時（立ちゴケ）に於ける同乗者の脱出補助を目的とした装置です。安全を守るヘルメットや同乗者の体重を支える足掛けは、身体に適合した状態のものをご使用下さい。

警告 本製品の装着方法を正しく守ってご使用下さい。

本製品の適切な装着ができないまま使用した場合、同乗者が後部座席から脱落する等、死亡や大ケガに繋がる可能性があります。

警告 本製品を停止転倒（立ちゴケ）脱出補助に使用した場合、想定以上の負荷がかかり製品の再使用ができなくなる場合があります。

停止転倒（立ちゴケ）脱出補助に使用した製品は、可能な限りその後のご使用をお控え頂くことを推奨致します。

警告 事故等で強い衝撃を受けた製品の使用はできません。

強い衝撃を受けたまま使用した場合、製品強度の低下や破損による後部座席からの脱落等、死亡や大ケガに繋がる可能性があります。

▲ 注意 本製品を高温な場所に触れさせないで下さい。

本製品は樹脂製の部品（ベルト、布地、縫糸を含む）で構成されているため、高温な場所に触れると溶けて変形または破損する恐れがあります。特に、オートバイのエンジン部やマフラー部に本製品を触れさせないようにご注意ください。

▲ 注意 本製品のバックル等の樹脂部品を強酸性の薬品に触れさせないで下さい。

本製品に使用されている樹脂製のバックルやアジャスターは、ポリアセタール樹脂で作られています。ポリアセタール樹脂は、強酸性の薬品に弱い性質を持ちます。身近な強酸性の薬品の例としてはトイレ用洗剤が挙げられます。本製品のバックル等の樹脂部品が強酸性の薬品に触れた場合、変形や破損を招く可能性があります。

▲ 注意 本製品を直射日光の当る場所で保管しないで下さい。

本製品に使用されているベルト部品は、ポリプロピレン樹脂で作られています。ポリプロピレン樹脂は、紫外線に長期間当たり続けると劣化をおこし強度が低下する場合があります。

▲ 注意 本製品を濡れた状態のまま放置しないで下さい。

本製品に強度補助部品として使用されているリベットとワッシャーには鉄を使った部品が含まれています。本製品を濡れた状態のまま放置した場合は、これらの鉄部品を腐食させ製品強度を低下させる恐れがあります。

▲ 注意 本製品を洗濯機で洗濯しないで下さい。また、乾燥機の使用もお控え下さい。

本製品に強度補助部品として使用されているリベットとワッシャーには鉄を使った部品が含まれています。本製品を濡れた状態のままにした場合は、これらの鉄部品を腐食させ製品強度を低下させる恐れがあります。汚れてしまった際には薄めた中性洗剤を布にしみ込ませ、軽く拭き取るようにして汚れを落とすようにして下さい。乾燥機を使用した場合は、本体クッション材の発泡ポリエチレンシートの変形や、リベット等の金属部品が蓄熱し高温となり、製品を破損する可能性があります。

▲ 注意 本製品を装着した状態で、同乗者（お子様）を「おんぶ」するように背中に吊り下げないで下さい。

同乗者を背中に吊り下げる状態を続けると、接続部品に連続的な負荷がかかり続け、強度が低下する場合があります。また、同乗者を背中に吊り下げた状態で「振り子運動」のような遠心力が発生した場合、想定以上の負荷が接続部品にかかり破損の原因となる恐れがあります。

▲ 注意 本製品の使用耐久期限は3年を目安としています。

ベルト部品のほつれや紫外線劣化、金属部品の腐食や樹脂の疲労等で製品強度は少しずつ低下していきます。使用頻度が高い場合の使用耐久期間はさらに短くなる場合があります。

▲ 注意 本製品をタンデム走行時の同乗者の脱落防止補助と、停止転倒時（立ちゴケ）の同乗者の脱出補助以外の目的で使用しないで下さい。

異なる目的で使用した場合、ベルトや樹脂バックル等への異方向への負荷が発生する恐れがあり、破損の原因となります。

保証書

本書は、下記の保証規定記載内容により、製品の無料修理または交換をお約束するものです。

製品名：タンデムツーリングベルト TB（グリップ標準装備）	保証期間：製品お買い上げ日より1年間
お買い上げ日： 年 月 日	お買い上げ店舗名：
お客様氏名：	お客様お電話番号：
お客様ご住所： 〒	
保証規定	
1. 取扱い説明書および使用上の注意に従った正常な使用状態で破損した場合は、お買い上げ後1年間無料で製品の修理または交換を致します。	
2. 修理の必要が生じた場合は、弊社までご連絡の上、製品に本書とお買い上げ時のレシートを添え宅配便等にてご送付下さい。	
3. 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。	
・ お客様の故意または不注意による破損の場合。 ・ 事故等による破損の場合や、使用中に生じたキズ等の外観上の変化の場合。	
・ 火災・地震・水害等の災害による故障及び、盗難・紛失等の場合。	
・ その他、製品の取扱い説明書および使用上の注意に従って使用されない場合や、不適切な使用、非正規な修理や改造による破損の場合。	
・ 本書の提示が無い場合及び、本書の必要事項の記入が無い場合。	
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。また本書の再発行は致しませんので大切に保管して下さい。	

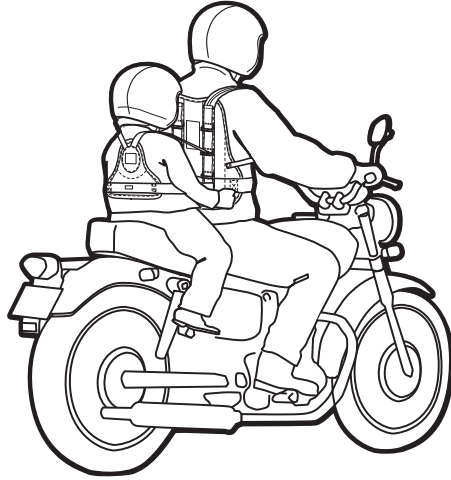


ペアライドプランニング&デザイン「タンデムライダーズ事業部」

〒202-0012 東京都西東京市東町 5-8-9 TEL 042-425-8455 FAX 042-423-5755
e-mail support@tandem-riders.com ホームページ URL www.tandem-riders.com



タンデムツーリングベルトTB取扱説明書



日本国内専用製品

本製品は日本国外でのご使用ができませんのでご注意ください



ご使用前に、本取扱い説明書を良くお読み頂き、正しくご使用下さい。
誤った方法で使用された場合には、製品の性能が著しく低下するなどの原因で、思わぬ大ケガや死亡事故に繋がる可能性があります。



安全にお使い頂くために、ご使用の前に必ずお読み下さい。

本書は製品と共に大切に保管するようにお願い致します。

警告 重要：ご使用の前に必ずご確認ください

- 本製品は、タンデム走行時の同乗者の脱落防止補助と、停止転倒時（立ちゴケ）に於ける同乗者の脱出補助を目的とした装置であり、転倒時や衝突時の乗員の身体的な安全を確保するものではありません。
- 本製品の設計上または製造上の欠陥に起因しない事故等の賠償責任等は一切負いかねます。「取扱い説明書」及び「使用上の注意」をよくお読みになり、使用方法や注意事項等を守り、安全運転の上でご使用される方の自己責任にてご使用ください。
- 体力的もしくは体格的に同乗者の体重を十分に支えきれない方は本製品のご使用ができません。
- 事故や転倒時に、運転者と同乗者が連結している事で、同乗者の身体に加わる損傷の度合いが増す場合があります。

適応体格範囲

下表の適応範囲を満たし、尚かつ「運転者と同乗者の身長差」から「前座席と後座席のシート段差」を引いた高さが0cm～75cmの範囲

	適応体格範囲	適応体重範囲	適応着衣胴囲範囲
運転者（ライダー）	150～190cm	-----	140cm 以下
同乗者（お子様）	100～150cm	40kg 以下	110cm 以下

- 例：運転者身長185cm、同乗者身長100cm、前後のシート段差5cmの場合 → $185 - 100 - 5 = 80\text{cm}$ × 不適応となります
 例：運転者身長153cm、同乗者身長150cm、前後のシート段差5cmの場合 → $153 - 150 - 5 = -2\text{cm}$ × 不適応となります
 例：運転者身長175cm、同乗者身長100cm、前後のシート段差0cmの場合 → $175 - 100 - 0 = 75\text{cm}$ ○ 適応体格範囲です
 例：運転者身長158cm、同乗者身長150cm、前後のシート段差5cmの場合 → $158 - 150 - 5 = 3\text{cm}$ ○ 適応体格範囲です



■警告■ 乗員の身長差が少なくシート段差が大きな場合ほど、同乗者の身体を支えることが困難となります。



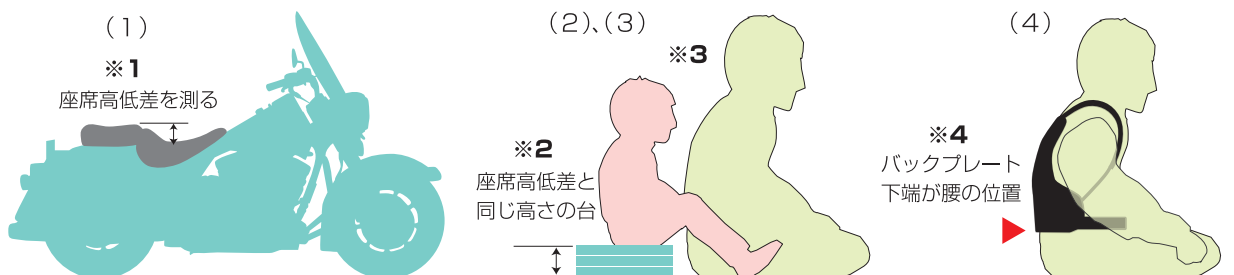
■ご注意■ 乗員の体格が上記の適応範囲にあっても、適切な装着ができない場合があります。

※スポーツやボディービル等で胸や肩の筋肉が大きく発達している方や、肥満体型の方等は、身長や着衣胴囲が本製品の適応範囲にあっても、本製品の肩ベルトや肩ベルトの補助ベルトが適正範囲を超えて装着できない場合がありますのでご注意ください。

1 事前調整準備 「接続位置選択とベルト長さ調整の手順」

! ご使用になる前に、必ず以下の手順に従って各部の事前調整を行うようにして下さい。

- (1) まず事前準備として、使用するオートバイシートの運転者と同乗者の座席高低差を測ります(※1)。
- (2) 座席高低差と同じ高さの台を雑誌などで作り床に置きます(※2)。運転者と同乗者は、共にオートバイに乗車する際と同じ衣服を着用して下さい。
- (3) 運転者は床に直接座り、同乗者は座席高低差に合わせた台の上に乗って下さい(※3)。シートの高低差が無い場合は、運転者と同様に同乗者も直接床に座って下さい。運転者側が高いシートの場合は、運転者が台の上に乗ります。
- (4) まずはじめに、運転者が運転者側装置を装着し、各部のベルトを調節します。「**運転者側バックプレート**」の**下端が腰の位置になるように調節**して下さい(※4)。シート段差が無く、運転者と同乗者の身長差が大きな場合は「**運転者側バックプレート**」の下端をより低い位置に調整しなければならない場合があります。

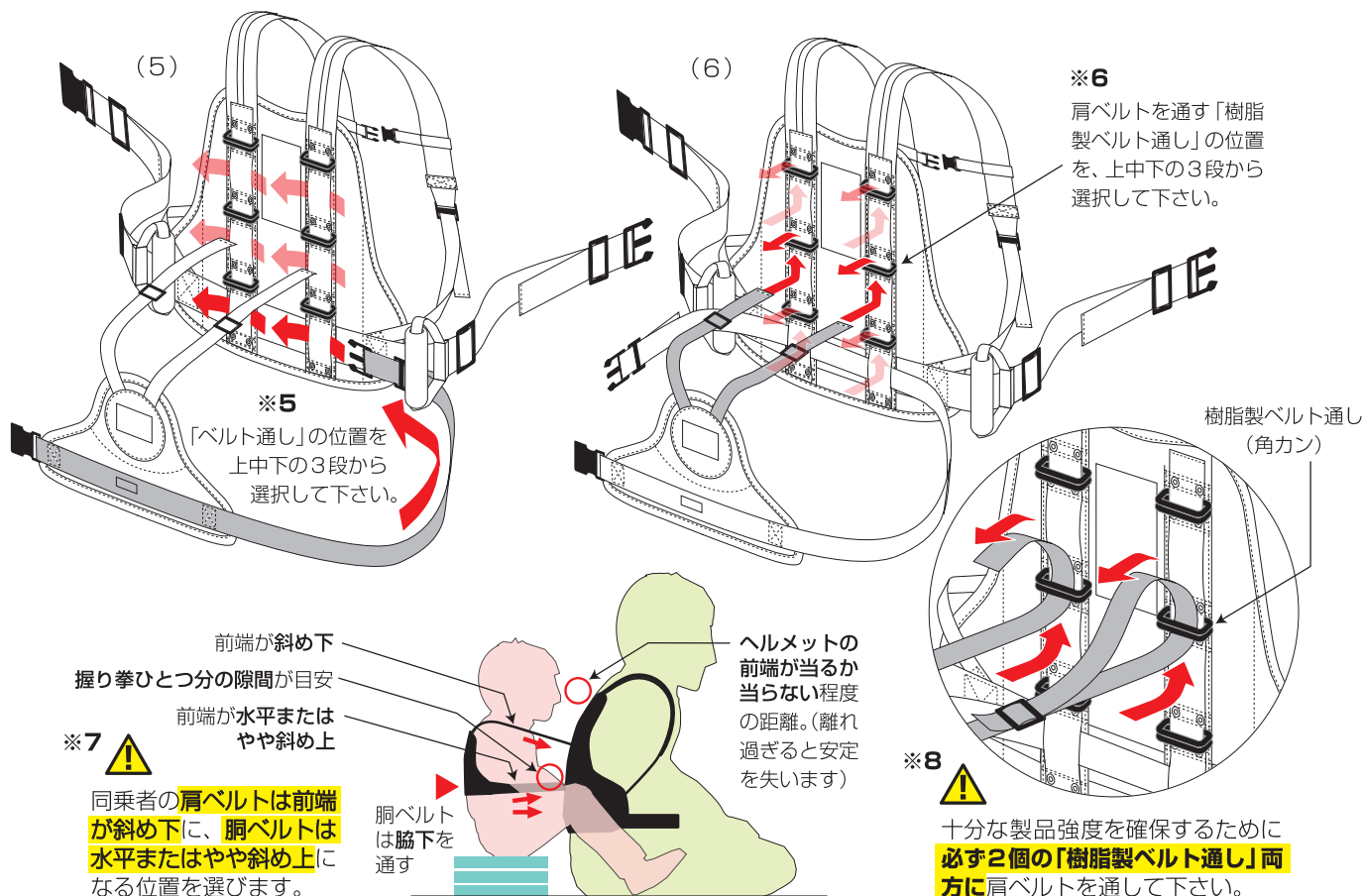


- (5) 次に、同乗者側の胸ベルトを「**運転者側バックプレート**」の「**ベルト通し**」に通して下さい(※5)。「**ベルト通し**」の高さは、**同乗者の胸ベルトが床と水平もしくは前端がやや斜め上になる位置**を選びます(※7)。

同乗者の胸ベルトを通す「**ベルト通し**」の高さが決まったら、そのまま同乗者の胸ベルトの長さをベルトアジャスターを使って調節して下さい。同乗者の胸ベルトは、キツからず緩からず、握りこぶしひとつ分程度の余裕を目安に長さを決めます。

- (6) 次に、同乗者の肩ベルトを「**運転者側バックプレート**」に取付けられた「**樹脂製ベルト通し(角カン)**」**2個の両方**に下方向から通して下さい(※8)。同乗者の肩ベルトを通す高さは、**肩ベルトの前端が斜め下になる位置**を選びます(※6、※7)。

「**樹脂製ベルト通し(角カン)**」に通した肩ベルトは、ベルトアジャスターを使って長さを調節します。同乗者にヘルメットを装着した状態で、ヘルメットのシールド等が運転者の背中に当たるか当たらない程度の位置を目安に長さを決めて下さい。



※7 **!**
同乗者の**肩ベルトは前端が斜め下に、胸ベルトは水平またはやや斜め上**になる位置を選びます。

前端が斜め下
握り拳ひとつ分の隙間が目安
前端が水平またはやや斜め上

ヘルメットの
前端が当たるか
当たらない程度
の距離。(離れ
過ぎると安定
を失います)

胸ベルト
は脇下を
通す

※6
肩ベルトを通す「**樹脂製ベルト通し**」の位置を、上中下の3段から選択して下さい。

樹脂製ベルト通し(角カン)

※8 **!**
十分な製品強度を確保するために**必ず2個の「樹脂製ベルト通し」両方に**肩ベルトを通して下さい。

2 製品の装着方法



ご使用になる前に、部品の破損や変形、破れやほつれ等が無いか必ずご確認下さい。

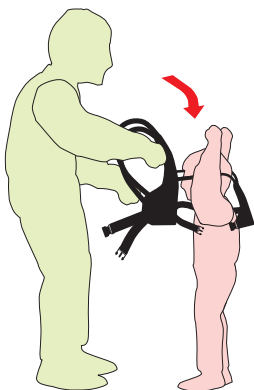


乗車時の車両転倒を避けるために、必ず運転者が乗ってから子供が乗車。

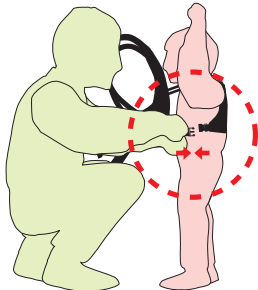


ご使用には、接続位置選択やベルト長さ調整等の事前調整準備が必要です。詳しくは前ページの事前調整準備をご覧ください。

- (1) ヘルメットをしていない状態で頭からかぶせるように装着



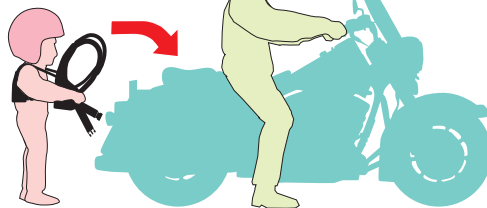
(2)



胸ベルトのバックルをロック
(胸ベルトは、腰ではなく脇の下に装着)

(3)

運転者が乗ってから乗車



(4)



最後に運転者が装着して完了

- (1) ベルト長や接続位置を事前調整したタンデムツーリングベルトTBを、ヘルメットをしていない同乗者の頭からかぶせるように装着します。
 (2) 同乗者側の胸ベルトのバックルをカチッと音がするまで確実にロックさせて下さい。
 (3) 運転者が先にスタンバイしているオートバイの後部座席に、ヘルメットを着用させた同乗者を乗車させます。
 (4) 運転者がリュックを背負う要領で運転者側肩ベルトを装着し、胸ベルトのバックルと、肩ベルトの補助バックルをロックして装着完了です。
 ※ 付属のグリップは、アジャスターで前後の位置調整が可能ですので、事前に適正な位置にセットするようにして下さい。

3 装着確認 タンデム走行の前に必ず装着確認をして下さい!



ご使用前に、正しく装着できているかを必ず確認して下さい。正しく装着されていない場合は、製品の性能が著しく低下し思わぬ大ケガや死亡事故に繋がる可能性があります。

- ⚠ ヘルメット(シールド)の前端が当たるか当らない程度の距離。(離れすぎると安定を大きく失います)

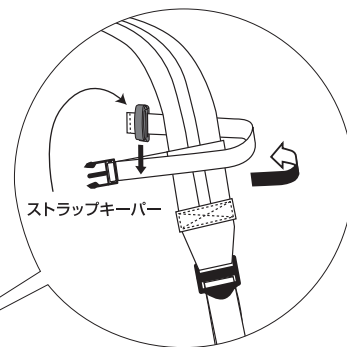
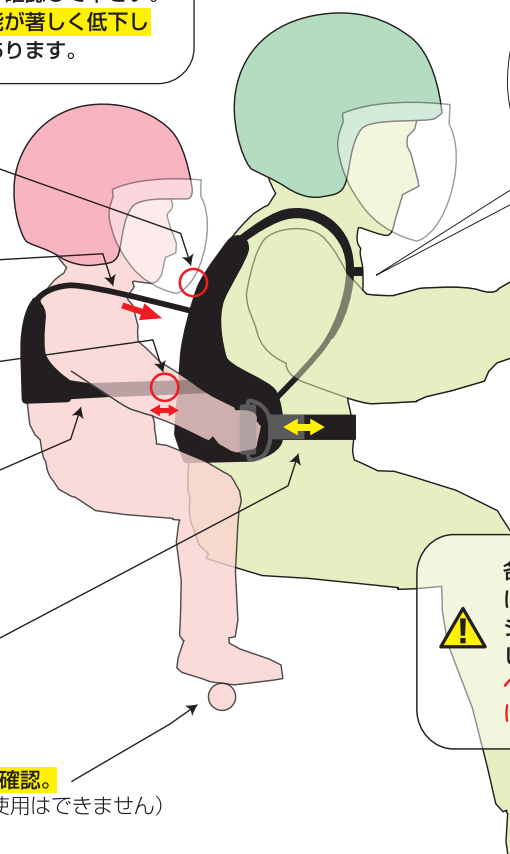
- ⚠ 子供側の肩ベルトの前端が斜め下になるように。(水平や斜め上の向きの場合、首や顔にベルトが干渉し危険です)

- ⚠ 子供の身体と運転者の背中との隙間は、握り拳ひとつ分が目安。(離れすぎると安定を大きく失います)

- ⚠ 子供側の胸ベルトは脇の下を通す。(腰の位置で使用すると、使用時に上方向にズレてしまい、結果的に肩ベルトが緩み安定を大きく失います)

- ⚠ グリップ位置を適切な距離にスライド調整。(グリップの位置が後過ぎると、子供の肘が大きく曲がってしまい、力が入り辛くなります。肘が軽く曲がる程度の位置に調整して下さい)

- ⚠ オートバイのステップに足が届いているかを確認。(ステップに足が届かない小さなお子様のご使用はできません)



胸元補助ベルトは、冬場のダウンジャケット等の厚着に対応する為、長めになっています。補助ベルト末端が余り過ぎる場合は、装着されているストラップキーパーを使って図のように固定してご使用下さい。



各部の余ったベルト末端が走行中にバタバタあばれないように、アジャスター位置を調整するようにして下さい。(特に同乗者側の肩ベルトの余りが顔に当たらない様に、十分にお気をつけ下さい)

4 正しくない装着例

※以下の図は、本製品の正しくない装着例です。本製品の適切な装着ができないまま使用した場合、同乗者が後部座席から脱落する等、思わぬ大ケガや死亡事故に繋がる可能性があります。本製品の装着方法を正しく守ってご使用下さい。

※以下の図にないケースであっても、本製品が正しく装着されていない場合には、走行中にバランスが崩れ安定性を大きく失う可能性がありますので十分にご注意下さい。

同乗者側のベルトの余裕が大きい



同乗者側の肩ベルトが首に干渉



同乗者側の胸ベルトの位置が低い



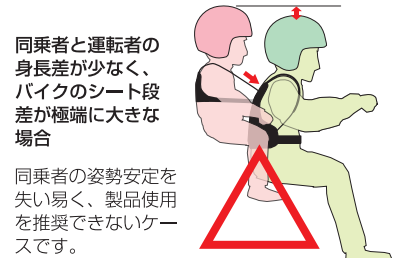
運転者側のベルトの余裕が大きい



同乗者側の胸ベルトの不連結



同乗者の頭部が運転者よりも高い

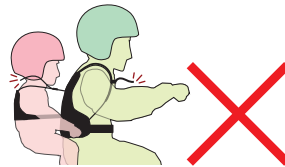


各ベルト末端部分の余りが長い（特に、同乗者側の肩ベルト・運転者側の胸元補助ベルト）

各ベルト末端部分の余りが長く、走行中にバタバタとあばれてしまう。

各ベルト末端部分の余りが長い場合には、アジャスターまたはストラップキーパーを使用して、ベルト末端部分の余りが短くなるように調整して下さい。

ベルト末端部分の余りが長いまま使用すると、走行中に風圧によってベルトがバタバタとあばれ、首や顔、目などに当たる可能性があります大変危険です。



アジャスターやストラップキーパーを使用しても、ベルト末端の長さが適正量に調整できない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

5 タンデム走行上の注意

※タンデム走行の際には、急発進を避け、カーブはゆっくりと走行するようにして下さい。激しい急発進は本製品に対する負荷が大きく、強度低下や破損を招く恐れがありますのでお止め下さい。

※同乗者が後部座席で寝てしまった場合には、速やかに安全に停止できる場所に移動するようにして下さい。同乗者が寝てしまっている状態で走行を続けることは大変危険ですので絶対にお止め下さい。

※体力的等の要因で、同乗者の体重を十分に支えきれない状況の場合は、本製品のご使用をお控え下さい。

6 お手入れ方法と保管上の注意

※本製品が汚ってしまった場合は、薄めた中性洗剤を布にしみ込ませ、軽く拭き取るように汚れを落として下さい。（洗濯機は使用不可）

※本製品が濡ってしまった場合は、陰干しにて十分に乾かしてから保管して下さい。（乾燥機は使用不可）

※本製品を直射日光の当る場所で保管および長期間の放置をしないで下さい。紫外線劣化によって強度が大きく低下する場合があります。

※各ベルト部品および樹脂部品が色褪せたり、ベルト部品の表面が毛羽立ってきた場合は「紫外線劣化」による製品寿命となりますので、直ちにご使用をお止め下さい。



製品に関するお問い合わせ先 ペアライドプランニング&デザイン「タンデムライダーズ事業部」

〒202-0012 東京都西東京市東町 5-8-9 TEL 042-425-8455 FAX 042-423-5755

e-mail support@tandem-riders.com ホームページ URL www.tandem-riders.com